

基本情報

時間割コード/Course Code	306519
開講区分(開講学期)/Semester	春～夏学期
曜日・時間/Day and Period	水4
開講科目名/Course Name (Japanese)	日本語教育学特別研究A
教室/Room	E 1 0 5
開講科目名(英)/Course Name	***
定員/Capacity	0
ナンバリング/Course Numbering Code	30JALC7BY01
必修・選択/Required/Optional	
単位数/Credits	2.0
年次/Student Year	1,2,3年
分野/Field	
担当教員/Instructor	真嶋 潤子

授業担当教員一覧

詳細情報

講義題目/Course Name	日本語教育学の学習・教育理論の諸問題
開講言語/Language of the Course	日本語
授業形態/Type of Class	演習科目
授業の目的と概要/Course Objective	日本語教育学の高度な研究を行い、優れた論文作成を目指す。
学習目標/Learning Goals	日本語教育学の最新の研究動向を把握することができる。 自分の研究テーマのための研究方法の精緻化ができる。 日本語教育学の論文発表ができる。
履修条件・受講条件/Requirement / Prerequisite	特になし。
授業計画/Class Plan	第1回 オリエンテーション 第2回 最新の研究動向、最近の博論紹介 第3回 学生の発表と討議1 第4回 学生の発表と討議2 第5回 研究方法についての講義 第6回 学生の発表と討議3 第7回 学生の発表と討議4 第8回 学生の発表と討議5 第9回 学生の発表と討議6 第10回 学生の発表と討議7 第11回 学生の発表と討議8 第12回 学生の発表と討議9 第13回 学生の発表と討議10 第14回 ゲストスピーカー 第15回 総括
授業外における学習/Independent Study Outside of Class	指定参考書を読んでくること。 自分の研究方法を精緻化すること。 自分の論文を書き進めること。 自分のテーマに関連する博論を読むこと。
教科書・教材/Textbooks	特になし。
参考文献/Reference	・大谷尚 (2019)『質的研究の考え方 研究方法論からSCAT による分析まで』名古屋大学出版会 ・佐藤郁哉 (2008)『質的データ分析法 -原理・方法・実践』新曜社 ・竹内理ほか著『外国語教育研究ハンドブック-研究手法のより良い理解のために』松柏社 ・本田弘之他編著 (2019)『改訂版 日本語教育学の歩き方』大阪大学出版会 ・John W. Creswell 著 操華子他訳 (2007)『研究デザイン -質的・量的・そしてミックス法』日本看護協会出版会・John W. Creswell (2009) "Research Design: Qualitative, Quantitative, and Mixed Methods Approaches, 3rd Edition." Sage Publications. その他の文献は授業で指示する。
成績評価/Grading Policy	出席+発表+レポートにより総合的に評価する。
コメント/Other Remarks	コロナ対応として、オンラインでzoom授業を計画しています。履修するかどうかを迷っている人も、まず阪大CLEの、この授業のところに説明用ファイルをアップしておくので、見てください。(履修登録をしないとCLEに入れないそうなので。後で履修取り消しも、期間内なら可能。)
特記事項/Special Note	コロナ対策としてzoom授業を計画していますが、事情があって参加できない場合は、個別に連絡してください。<jmajima@lang.osaka-u.ac.jp>
オフィスアワー/Office Hour	火曜5限 (HPから予約制) それ以外は、個別に応じます。 真嶋潤子のHP: <http://majimajunko.sakura.ne.jp/bukosite/home.html> 「在学生への情報」のページから予約可能。

授業担当教員

教員氏名/Instructor Name	真嶋潤子
----------------------	------

学生への注意書き

--